

PRESS RELEASE

報道関係者 各位

平成28年9月23日

富山県総合デザインセンター

(配信代行：有限会社エピファニーワークス)

既成の表現に捉われない、「クリエイティブ」な富山生まれの製品が今年もずらり。

富山デザインウエーブ2016デザイン展開催！

10/3（月）～10日（月・祝）

デザイン性・機能性に優れた今年の「富山プロダクツ」も決定、
10月からカタログ配布開始。

「商品開発」「人材育成」「情報発信」の3つの軸を基に、デザインの活用でビジネスの活性化を図り県内企業のバックアップを目指している富山県総合デザインセンターは、10月3日（月）～10日（月・祝）に富山県民会館において、「富山デザインウエーブ2016デザイン展」を開催します。内容は、「富山デザインコンペティション」を中核にした展示とワークショップに加え、安積伸氏、川上典李子氏、鈴木マサル氏など国内外で活躍するトップクリエイターを招いた公開審査・セミナーや、富山のデザインの最新動向を伝える企画展などで構成しています。メインの「富山デザインコンペティション」は、企業やデザイナーと協働で入賞作品の商品化を目的に取り組むもので、若手デザイナーの登竜門として、これまでに30点以上の商品が応募作品から生まれています。



また、富山県総合デザインセンターでは、毎年、富山県内で企画または製造される「品質」や「デザイン」に優れた工業製品（食料品・医薬品を除く）を「富山プロダクツ」として選定しており、今年も新たに20の製品が選ばれました。これらの製品を、「富山デザインウエーブ2016デザイン展」の中で展示するほか、富山プロダクツを生み出す富山の風土や作り手の想いを交えて製品を紹介する最新版カタログを10月から全国の美術館・ギャラリー・カフェ等でも配布します。

なお、10月3日（月）10時～富山県民会館において、オープニングセレモニーを開催します。富山から発信するデザインの新たな風に、ぜひご期待ください。

【開催概要】

- 名称：「富山デザインウエーブ2016デザイン展」
- 展示期間：平成28年10月3日（月）～10日（月・日）9:00～18:00
- オープニングセレモニー：10月3日10時～
- 場所：富山県民会館1Fロビー（富山市総曲輪4-18）
- 入場料：無料
- 主催：デザインウエーブ開催委員会（富山県総合デザインセンター内）

※実施内容の詳細やカタログイメージについては次頁以降をご参照ください

【報道関係者の方のお問合せ先】

(有) エピファニーワークス (担当：荻布、林口)

TEL：090-2838-0098（荻布）、090-9760-4266（林口）

PRESS RELEASE

(参考資料①/「富山デザインウエーブ2016デザイン展」実施内容)

【関連イベント】

富山デザインコンペティション2016 2次審査

富山の産業を生かし、新しいデザインの商品化を目的とした本コンペの審査員に、安積伸氏（プロダクトデザイナー/法政大学教授）、川上典李子氏（デザインジャーナリスト）、鈴木マサル氏（テキスタイルデザイナー/東京造形大学教授）を迎え、全国から集まった作品の2次審査を実施。

1次審査を通過した12名（組）のプレゼンテーションの後、審査員による熱の入った公開審査を展開します。

◎日時：平成28年10月1日（土）

2次審査 15:00～18:20、授賞式 18:30～18:50、意見交換会（会費制）18:50～20:30

◎場所：富山第一ホテル3F 天平、白鳳（富山市桜木町10-10）

◎参加費：無料 ※意見交換会参加の場合は2,000円（食事付）



デザインセミナー

安積伸氏と川上典李子氏を講師に迎え、「世界に向きあうデザインの共感力」をテーマに、Magis、lapalmaなど国際的な企業と協働し、様々な人たちと向き合い実践してきた安積氏の20年の活動をご紹介いただき、川上氏を交えたディスカッションを行います。

◎日時：平成28年10月2日（日）14:00～16:30

◎場所：富山県民会館 611号室

◎参加費：無料



【デザイン展 展示内容】

企画展「インテリアデザインにおける『布』と『紙』の新しい挑戦」

布による新しい空間を作り続ける須藤玲子氏と、富山の蛭谷和紙の川原隆邦氏にスポットを当て、布と紙のインテリアにおける考察と、県内外企業のエポックメイキングな製品を展示。

富山マテリアルワークショップ2016作品展

「富山の食を彩る」をテーマに、5名のデザイナーが富山に集まり制作したガラス作品を紹介。

富山デザインコンペティション2016作品展

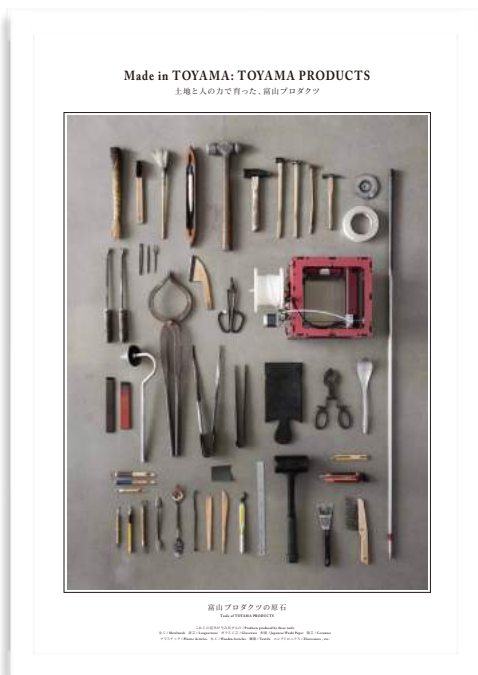
今年のテーマは「欲しい！共感するプロダクト」。新しい発想と考え抜いたデザインで1次審査を通過した12作品を紹介。
(富山プロダクツ展イメージ)

富山プロダクツ2016展

富山発の機能性・デザイン性に優れた工業製品として今年度新たに選定された「富山プロダクツ」を展示。

PRESS RELEASE

(参考資料②)「富山プロダクツ」カタログについて



2002年から実施している「富山プロダクツ選定事業」。県内で企画、製造される性能、品質及びデザイン性に優れた工業製品（食料品、医薬品を除く）を富山プロダクツ商品として選定し、その販路開拓を支援する富山県の取り組みです。県内に工場または事業所を有する企業・個人を対象に製品のエントリーを募り、毎年9月に審査を行っています。

今年は20の製品を選定し、このほどカタログの最新版が完成しました。選定された商品の紹介パンフレットを作成し、各種展示会へ出品を行うなどの支援により、「富山ブランド」として国内外に情報発信しています。

なお、これまでのすべての選定商品（約200点）はHPで紹介しています。>> products.toyamadesign.jp

カタログでは、製品を紹介するだけでなく、優れたプロダクツを生み出す富山県の自然や精神風土のほか、作り手のストーリーなども掲載しています。今年度は、伝統の銅器着色の技をベースに新たな発色技法の開発や異分野との提携に挑む「有限会社モメンタムファクトリー・Orii」と、異業種交流や若手のユニークな発想の活用でオンリーワンの商品づくりを行う靴下メーカー、「助野株式会社」にスポットを当て、ご紹介しています。



<今年度選定商品の一例>



ミツオカ ビュート/自動車/
(株) 光岡自動車



尾羽 OHA/靴べら/ (株) タカタレム
ノス ※小林幹也氏によるデザイン



造作材屋の手作り時計キット/
手作りキット/ (株) 元尾商店

[報道関係者の方のお問合せ先]

(有) エピファニーワークス (担当：荻布、林口)

TEL：090-2838-0098 (荻布)、090-9760-4266 (林口)

E-mail: yuko@epiphanyworks.net (荻布)、sari@epiphanyworks.net (林口)